

一般社団法人栃木県バスケットボール協会
平成 29 年度 第 5 回理事会 議事録

日時：平成 29 年 12 月 19 日（火） 18：30～

会場：文星芸術大学附属高校研修室

出席：〔理事〕 25 名 阿部泰紀、上野秀夫、小曾戸和彦、片桐晃、遠藤嘉津敏、高橋哲夫、福田悦男
直井秀之、新村雅司、塚原弘江、福田憲司、中村剛久、石渡光平、杉森豪
佐藤智信、日向野信行、渡辺諭、前原延之、北条和寿、小林史雄
齋藤宣子(代理)、佐々木清美、古谷常夫、山田将樹、益子基久（特任理事）

〔監事〕 0 名

欠席：〔理事〕 3 名 鈴木克美、別井明彦、横澤隆一、

〔監事〕 2 名 井上尉央、荻美紀

1 あいさつ

阿部会長：多忙中の参加に感謝する。インカレでは、白鷗大女子が 3 位・男子が 4 位と素晴らしい成績を収めた。本日出席の佐藤先生に感謝申し上げる。本日も、慎重審議をお願いする。

2 報告事項

(1) ホームページの修正について

アレックス（高貝氏）：修正するホームページの概要および工程についてについて説明する。

今後のやり取りは、各連盟担当者と高貝氏と直接メール等をお願いする。

(2) 各種大会報告

ア 全国大学選手権（白鷗大学男子 4 位、女子 3 位）：白鷗大学佐藤監督より報告。

イ 天皇杯・皇后杯 3 次ラウンド：栃木ブレックスが最終ラウンドに進出した。

ウ その他

①第 4 2 回栃木県ミニバスケットボール大会

男子：優勝 宮の原 準優勝 雀宮中央

女子：優勝 今二ラビッツ 準優勝 新橋 V P

※男女とも上位 2 チームが関東大会（山梨県開催 1 月）へ出場

②関東ママさん交歓大会

A ブロック（シニア）：マロニエ M・C 1 回戦敗退敗者戦へ

B ブロック：マロニエ M・C 4 位

C ブロック：FMC・AQUA 4 位

③全国クラブ選手権大会関東予選会

男子：優勝 白鷗大 B 準優勝 BREMEN 3 位 瀧の原クラブ 4 位 HONDA Nut'z

女子：優勝 TBC 準優勝 女盛 3 位 栃銀クラブ 4 位 SCRATCH

※男女とも上位 2 チームが関東予選（茨城県開催 2 月）へ出場

④第 4 回 3×3 U18 全日本選手権大会(12/15~17)

男子：小山高校（予選トーナメント敗退） 女子：小山南校（決勝トーナメント一回戦敗退）

④第 29 回車椅子バスケットボール栃の葉大会報告

佐々木理事：栃の葉大会を、宮城マックスとパラ神奈川 SC を招待して実施した。間に体験教室を挟みリーグ戦を行った結果、0 勝 2 敗であった。

(3) 3×3 について

石渡理事：○クロススポーツマーケティングより 2/10 にゼビオスポーツ主催の 3×3 のイベントがあり、栃バ協も一緒にという話があったが、関東高校新人大会の開催もあり今回は見送った。2/25 の U12 と OPEN は予定通り開催する。

○今まで、大会ごとにモニターをレンタルしていたが、輸送料が大きいのでモニターを購入した方がよいので購入したい。

片桐副会長：利便性を考えると購入した方がよい。

専務理事：次回の理事会に見積もりを出して審議したい。

(4) U12・U15 カテゴリー一部会 JBA 説明会報告：栃バ協会内組織体制の改革に関連するのでそこで説明

(5) 新年会について：白鷗大学の男女を招待した。

(6) その他の報告

ア D-fund の申請結果について：決定通知が年末に来ることになっているが来ていない。結果通知がありしだい連絡する。

イ BREX 関係：○レギュラーシーズンの順位は最下位であるが安齊ヘッドコーチになって盛り返している。また、ギブスが復帰することになった。

○天皇杯 3 次ラウンドの結果ファイナルラウンドで千葉ジェッツと対戦することになった。

○BREX CUP 2018 大会記念ウェアの販売について、協会に売り上げの 5% 還元がある。

ウ その他

①財務部より：平成 30 年度予算案の作成について 3 月末に決定したいので 1 月～3 月の予定に従い事業計画、予算書案、備品購入リスト等の提出をお願いします。

②2020 年関東ブロック予選会について

専務理事：2020 オリンピック開催時の関東ブロック予選会の開催について、通常期間の開催はできないので検討を要するとのことである。これについては 12/23 に関東協会でも臨時の会議があるので、後日報告する。

3 定足数について

○定款第 47 条により、欠席者 5 名、過半数以上の出席により定足数を満たし、本理事会は成立。

4 議事録署名人の選出について

阿部会長：クラブ連の 中村剛久 氏 と高体連の 日向野信行 氏 をお願いします。

5 審議事項（議長：阿部会長）

(1) 天皇杯・皇后杯 3 次ラウンドの決算について

事務局：栃木ブレックスと委託契約を結んで、収益の 20%が栃バ協に入ることになっており、644,817 円の収入を得た。賛助会口座に入金して、ジュニア育成事業等に使いたい。

—承認される。—

(2) U14 ジュニアオールスター選考会結果について (案)

前原理事：U14 ジュニアオールスター選考会の結果男女各 12 名を推薦したい。男女ともにU13 の候補選手がほとんどであるが、新たに能力的に高いと評価された男女各 2 名が推薦された。また、帯同トレーナーを 2 名認めてほしい。

—承認される。—

(3) 栃木県社会人バスケットボール連盟設立について

中村理事：設立の経緯について説明。

専務理事：栃木県社会人バスケットボール連盟設立準備部会で準備を進めてきた。JBA より 12 月末までに設立することと期限を決められている。

設立について承認をいただき、本日を設立年月日としたい。定款等は連盟設立準備部会を中心に検討していき、来年 4 月 1 日より運用開始にしたい。クラブ連等は、平成 30 年 3 月 31 日をもって解散することになる。

—承認される。—

(4) 栃バ協会内組織体制の改革について

専務理事：JBA のガバナンスにより栃バ協会内組織体制の改革を進めることになる。大きな改正は、アンダーカテゴリーを整備すること、JBA より必置とされている委員会等を組織することである。組織体制を整備して定款等を変更していく作業が必要となる。次の理事会には、より具体的な提案をして、4 月 1 日より運用できるようにすることでよいか承認願う。

—承認される。—

(5) 賛助会からの寄付金について

専務理事：賛助会の募集は 12 月末となっている。今までに 492,010 円が振り込まれた。そのうち 40 万円を賛助会からの寄付金として栃バ協に振り込み、ジュニア育成事業等に使用したい。

—承認される。—

(6) その他

ア 新登録管理システムについて

①栃木県全体管理者について

専務理事：JBA の新システム移行に伴い、県の全体管理者を 1 名以上報告することになっている。栃木県としては、専務理事と登録費の管理という観点から財務部長の 2 名としたい。

—承認される。—

②部門管理者およびカテゴリー管理者について

専務理事：全体管理者を報告したのち、部門管理者およびカテゴリー管理者を 1/19 までに登録することになっている。部門管理者には競技部長、審判部・指導部には登録担当者、カテゴリー管理者には関係連盟の理事長・専門委員長としたいので承認願う。

—承認される。—

専務理事：変更する場合には1/15までに事務局に連絡してほしい。2/3に担当者説明会があるので、1/9までに参加希望する場合には事務局へ連絡してほしい。

イ 新システムに伴う登録料の設定について。

専務理事：新登録料を設定しなければならないが、栃木県としてはJBAが設定する地方協会の限度額としたい。

—承認される。—

6 その他

(1) 中体連より大会結果報告

ア 県中学校地区選抜対抗バスケットボール大会

男子：優勝 宇河 2位 足利 3位 那須

女子：優勝 宇河 2位 下都賀・芳賀 3位 那須

イ 第5回北関東チャンピオンリーグ中学生大会の結果

チャンピオンリーグの部

男子：2位 一条中 女子：優勝 陽南中

チャレンジリーグの部

男子：2位 清原中 女子：優勝 一条中

(2) 高体連より

ア ウインターカップの組合せについて（12月23日より）

イ 県下高校新人大会の開催について（1月）

ウ 関東高校新人大会の開催について（2月10・11日）

(3) 3×3委員会より

○U18の日本選手権への高校生の派遣が問題になっている。高体連が関係していないので認欠が認められない事態がある。

●栃バ協としては、県や市の教育委員会に後援申請を出して、教育機関とも連携を図るよう努力していく。

7 あいさつ

上野副会長：長時間にわたり慎重審議ありがとうございました。